

給食だより

令和4年4月

佐呂間町学校給食センター
Tel 5-2555

ご入学・ご進級おめでとうございます。

今年度も安全でおいしい給食を提供できるよう、職員一同心がけてまいります。よろしくお願いいたします。以下、佐呂間町の学校給食、アレルギー対応についてお伝えします。

佐呂間町の学校給食について

◇佐呂間町の給食は、文部科学省から出されている基準に沿って献立を立てています。

文部科学省の基準は、日本人の食事摂取量に基づき、日常不足しがちな栄養素が給食で少しでも補えるようなものになっています。

◇月・水・金曜日がごはん、火曜日が麺、木曜日がパンです。

日本型の食事を基本とし、和洋中のバランスよいメニューになるよう心がけています。

◇子ども達が好きな味、好きなメニューを提供するだけでなく、苦手だけれど栄養豊富なものなど、様々な食材が提供されます。発達期であるこの時期に味覚の幅を広げ、いろいろな味を知ってほしいと思っています。



◇マイ箸…佐呂間町では家庭から箸を持参していただく方式をとっています。

毎日箸を持ち帰り、きれいに使うことができるよう、ご家庭の協力をお願いします。



学校給食における食物アレルギー対応についてお知らせです！

佐呂間町では、文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」および北海道教育委員会の「学校における食物アレルギー対応の進め方」を踏まえ、食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同じように学校給食を楽しめることを目指し、食物アレルギーを有する児童生徒の実態を医師の診断を基に正しく理解した上で、安全性を最優先としながら佐呂間町学校給食センターの人員・施設設備等で可能な対応食の提供を行うこととしています。

佐呂間町学校給食センターでの対応の基本

- 学校給食センターにおいては、卵・魚介類・小麦粉・落花生・牛乳・乳製品・果物の原因食品に対応する「除去食」および「代替食」の提供について検討を行う。ただし、調理場での代替食対応が困難な場合は、学校と給食センター等で検討・決定の上「弁当対応」を依頼する。
- そば、刺身等生の魚類・魚卵(いくら等)、マヨネーズ以外の生卵は学校給食の献立には使用しない。
- 対応食は完全除去を原則とし、原因食品を提供するか・しないかの二者択一の対応とする。
- 飲用牛乳は、乳アレルギーや乳糖不耐症により飲むことができないとされた場合に限り、代替対象とする。
- 安全な学校給食を提供するためアレルギー対応を踏まえた献立内容の検討、使用食品の選定等を心がける

裏面はアレルギー対応の流れについてです。



アレルギー対応の流れについて



【1】食物アレルギー対応の流れ

(1) 新1年生小学校入学時

入学前の就学時検診時に提出していただく「食物アレルギー調査票」により食物アレルギーを有する児童の把握を行います。給食において配慮が必要な場合には医療機関を受診のうえ、「学校生活管理指導表（以下 指導表）」および「食物アレルギー対応食等実施申請書（以下 申請書）」の提出が必須となります。これらの書類の提出後、学校・給食センターで検討したのちにアレルギー対応の内容を決定します。

(2) 進級時

学校での配慮・管理が必要な児童生徒は、症状等に変化がない場合にも毎年、指導表および申請書の提出をお願いします。書類の提出がない場合は対応を継続することが困難になるため、忘れずに提出をお願いします。

(3) 新規発症時・転入時

新たにアレルギーを発症した際には、保護者等から医師の診断に基づいた報告を随時受け付けています。報告後に指導表および申請書の提出をお願いします。書類の提出後、学校・給食センターで検討したのちにアレルギー対応の内容を決定します。

(4) 毎月の流れ

アレルギー対応の内容についてはご家庭でも確認をお願いします。「詳細な献立表」および「個別の対応表」を毎月保護者あてに配布します。

【2】アレルギー対応を停止する場合

アレルギー対応を停止する場合にも指導表の提出が必須となります。指導表と、「アレルギー対応停止」の旨を記載した申請書の提出をもってアレルギー対応を停止します。書類の提出がない場合、対応を停止することができません。

乳糖不耐症等に伴う飲用牛乳停止について

乳糖不耐症等により飲用牛乳を停止希望の場合は学校、給食センターまでお知らせください。申請書を提出し、検討の上停止します。尚、代替飲料は基本的にパックお茶となります。

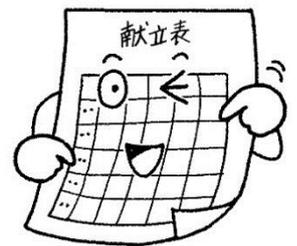
子どもの食物アレルギーの症状は、成長に伴って変わりゆくものです。心配なこと等があれば学校または給食センター(5-2555)までご連絡ください。



献立表確認のお願い

給食で初めて食べる食材はありますか？

食物アレルギーは、乳児がもっとも多く、年齢が上がると共に減少します。しかし、中には学童期以降に



アレルギー症状があらわれる場合もあります。給食で初めて食べる食材がある場合は、体調のよい時に、まずは、家庭で食べることをおすすめします。